

第 2 回岩手県公共交通活性化協議会 県北地域部会

資 料 （叩き台）

－ 目 次 －	
<b>1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題.....</b>	<b>1</b>
1-1 人口動態.....	1
1-2 まちづくり.....	1
1-3 公共交通.....	2
<b>2. 県北地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題 .....</b>	<b>3</b>
2-1 人口.....	3
2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態 .....	3
2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性 .....	4
2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ.....	4
2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋）） ..	4
<b>3. 県北地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ） .....</b>	<b>5</b>

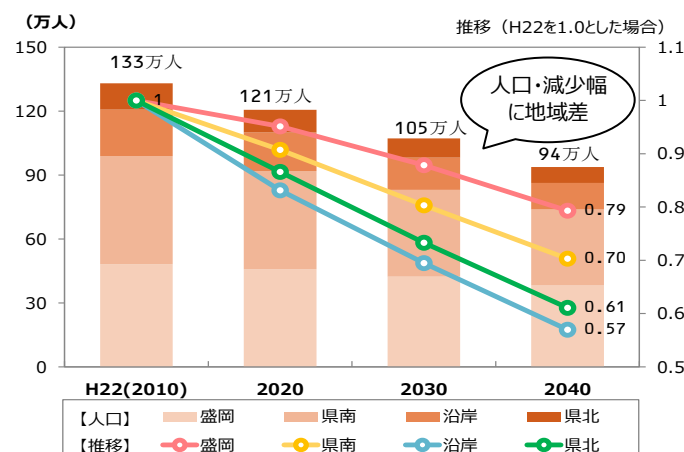
平成 3 0 年 9 月 1 2 日（水）  
岩手県政策地域部交通政策室

## 1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題

### 1-1 人口動態

- 本県の人口は平成9年の約142万人※をピークに減少に転じており、平成29年には約125万人※と約17万人減少（平成9年比約1割減）している。
- 将来人口推計では、2040年には94万人まで減少することが見込まれており、特に、県北・沿岸地域では、平成22年の約6割にまで人口が激減（＝需要の減少）することが想定されている。
- 人の流動は、各広域振興局圏内にとどまらず、圏域を超えた流動も多く、これらの移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。

※資料：岩手県毎月人口推計



図：広域振興局別人口の将来推計

資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

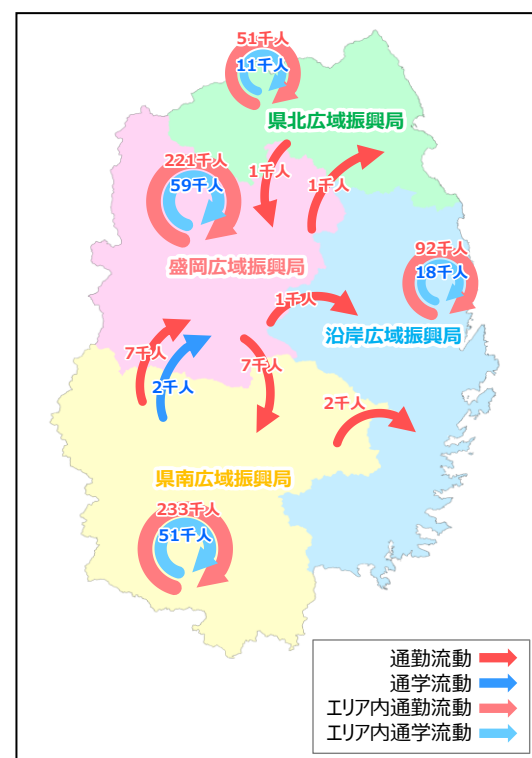
### 1-2 まちづくり

#### (1) 交通ネットワーク整備の進展

- 東日本大震災津波後、復興道路が平成32年度の開通を目指し整備されていること、また、J R山田線（宮古～釜石間）が平成31年3月23日より三陸鉄道に移管され、一貫運行されることで、広域的な人・ものの動きが激変することが想定される。
- このような交通ネットワークの変化を見据えた地域間交通の形成を検討する必要がある。

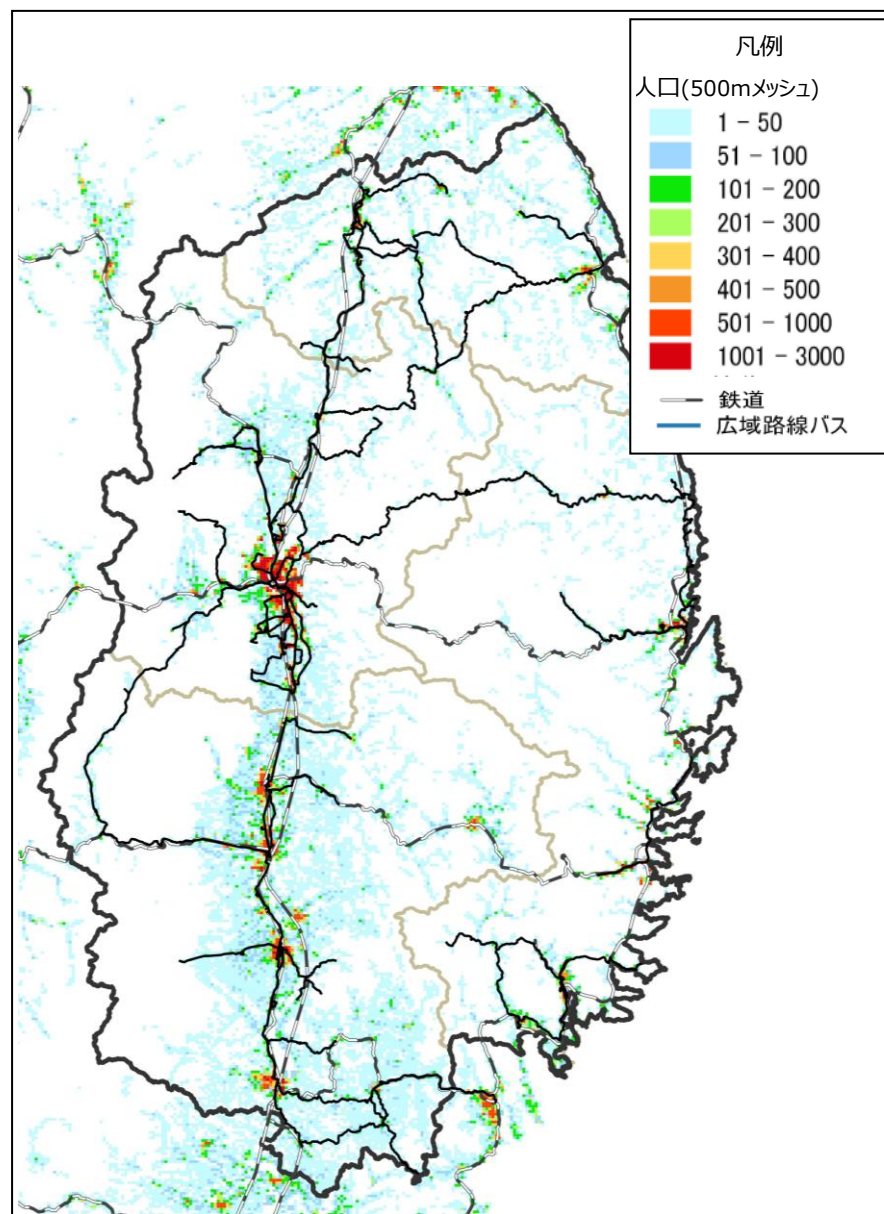
#### (2) 観光振興・国家プロジェクトへの対応

- 本県ではラグビーワールドカップ2019™釜石開催や大船渡港を始めとする港へのクルーズ船の寄港、八幡平地区等の訪日外国人旅行者受入環境の整備といったインバウンド施策、ILCの誘致事業等、国レベルの事業・プロジェクトが動いており、交流人口の拡大・増加が見込まれる。
- 観光振興等各種プロジェクトの事業進捗状況を見据えつつ、それらと連動し、生活交通路線を活用した、交流人口・インバウンド需要にも対応可能な地域間交通の利便性の向上が求められる。



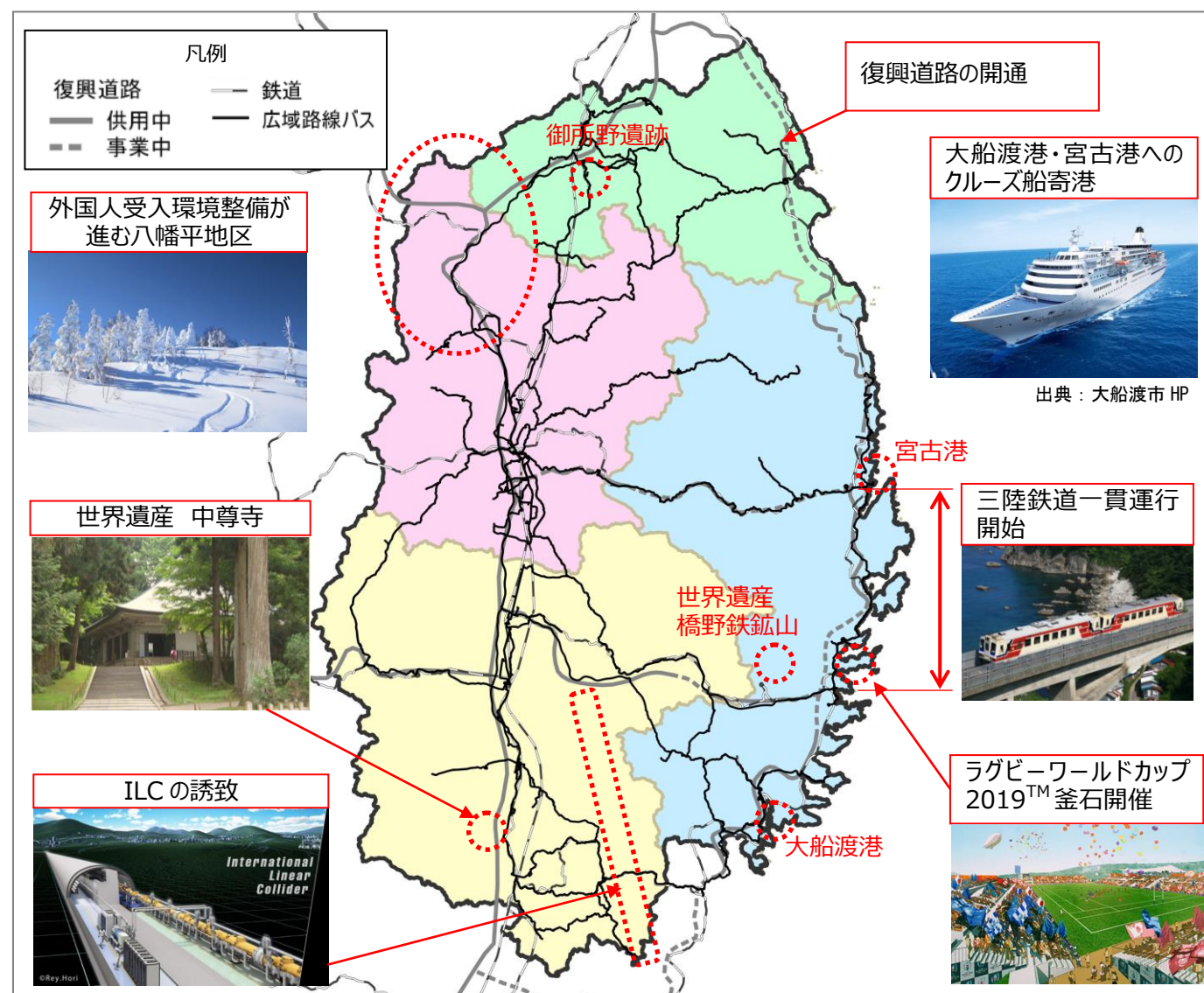
図：広域振興局単位での通勤・通学流動（H27）

資料：国勢調査



図：人口分布（H27）

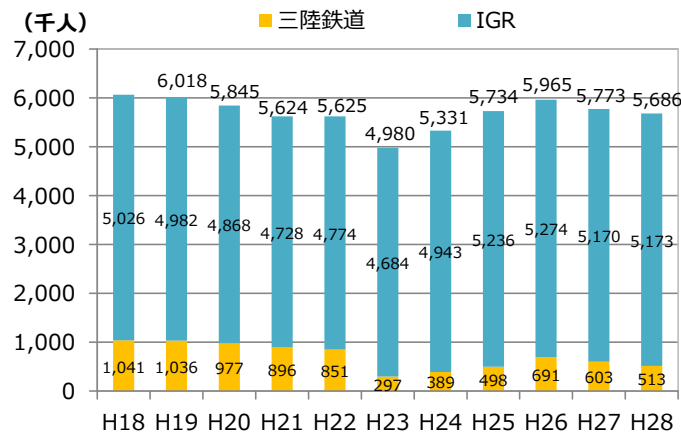
資料：地域メッシュ統計



図：まちづくり推進状況

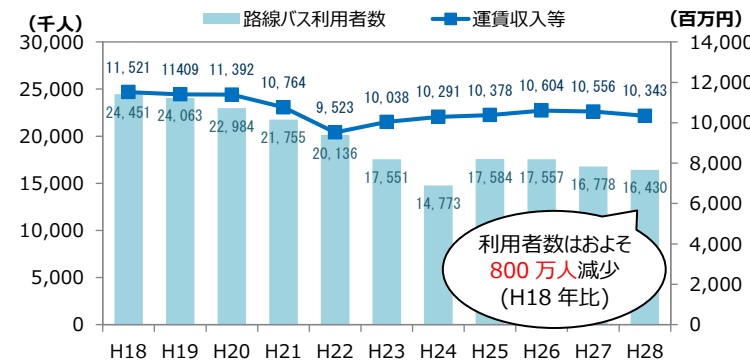


- ・ 本県では、少子化の進展、自動車の普及に伴い、公共交通利用者が減少し、地域公共交通の利用者数及び運賃収入は年々減少している。
- ・ タクシー事業者は、廃業する事業者もあり、平成 30 年 7 月現在 138 社となっている。
- ・ 第三セクター鉄道の平成 28 年度の利用者は、約 570 万人であり、平成 18 年度に比べ約 30 万人減少している。
- ・ また、路線バスの平成 28 年度の利用者は約 1,640 万人と、平成 18 年度に比べ約 810 万人減少し、国・県の補助対象要件を満たさない路線が発生している。
- ・ 沿岸地域において震災後に導入された「地域公共交通確保維持改善事業の被災地特例」「特定被災地域公共交通調査事業」は、仮設住宅の集約・廃止に伴い平成 32 年度に終了予定となっており、今後、県・各市町村においては地域公共交通を維持・確保する上での負担が大きくなることが懸念される。
- ・ そのような中、各市町村では「地域公共交通網形成計画」の策定が進められている（策定済み 10 市町村、策定中 7 市町村）。
- ・ 市町村策定の計画には、幹線路線の位置づけはされているものの、自治体単独で具体的な再編・施策を展開できておらず、地域内公共交通の再編・改善にとどまっている状況にある。



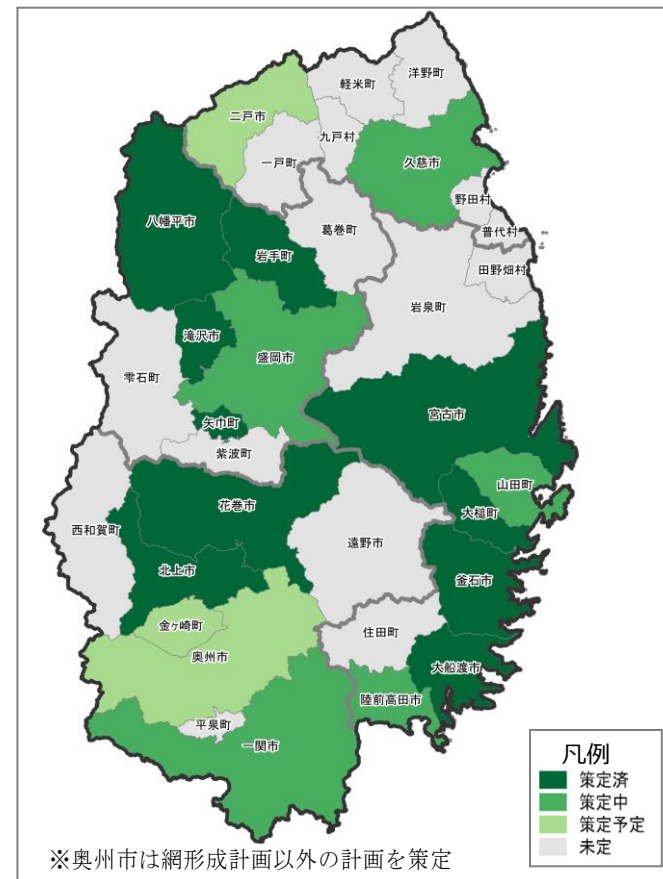
図：三セク鉄道利用者数の推移

資料：岩手県資料



図：路線バス利用者数及び運賃収入の推移

資料：岩手県資料



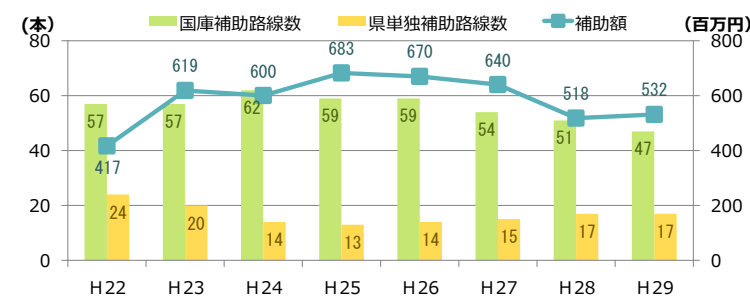
図：地域公共交通網形成計画の策定状況

表：タクシー事業者数(H30年7月)

	盛岡地域	県南地域	沿岸地域	県北地域	岩手県
タクシー事業者数	32	54	32	20	138

※主たる事務所の所在地で地域分類している

資料：東北運輸局岩手運輸支局資料



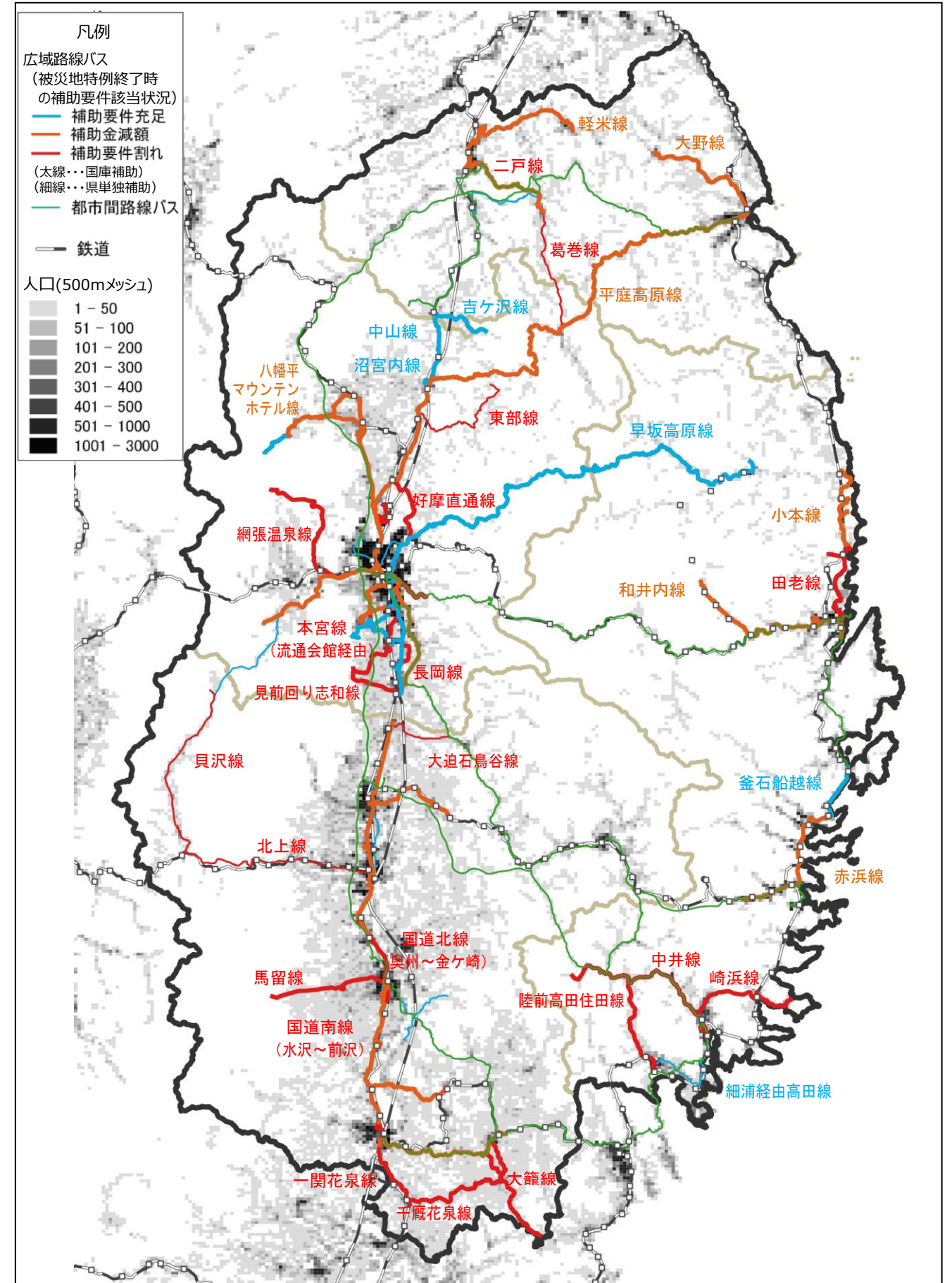
図：補助対象路線（国庫・県単）の路線数と補助額の推移

資料：岩手県資料

表：補助要件の充足状況(H29 年度)

路線種別	国庫補助路線		県単独補助路線		合計	
補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
路線数	47	16	17	9	64	25
補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

資料：岩手県資料



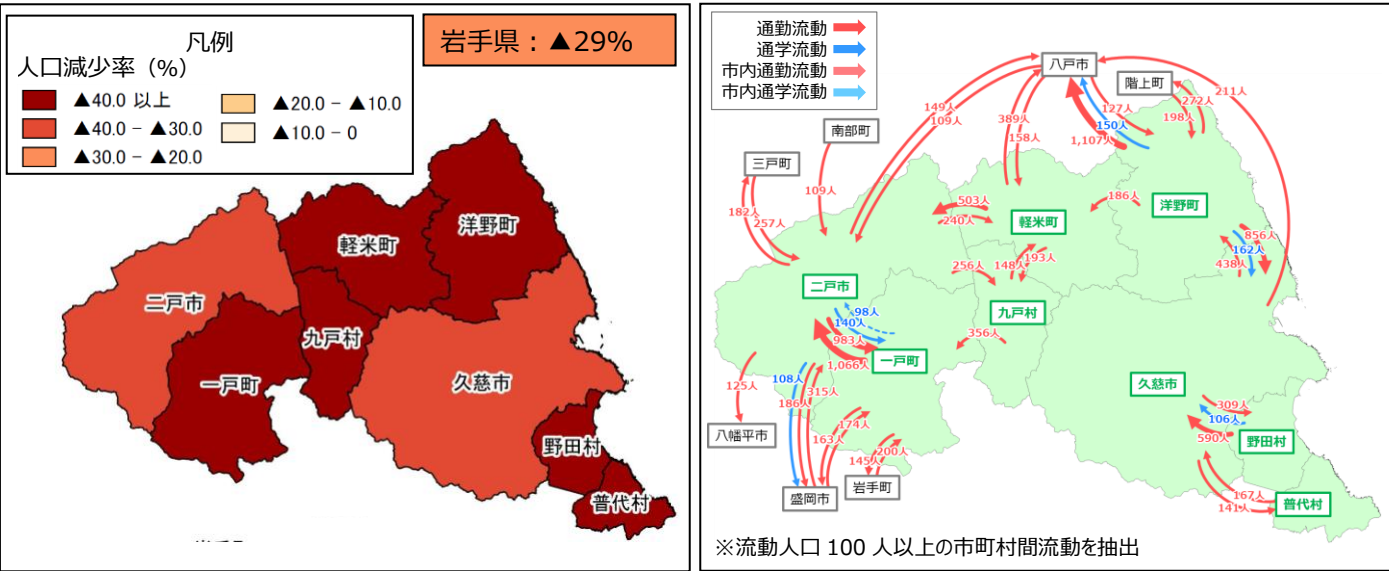
図：地域公共交通ネットワーク（鉄道・広域バス）



2. 県北地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題

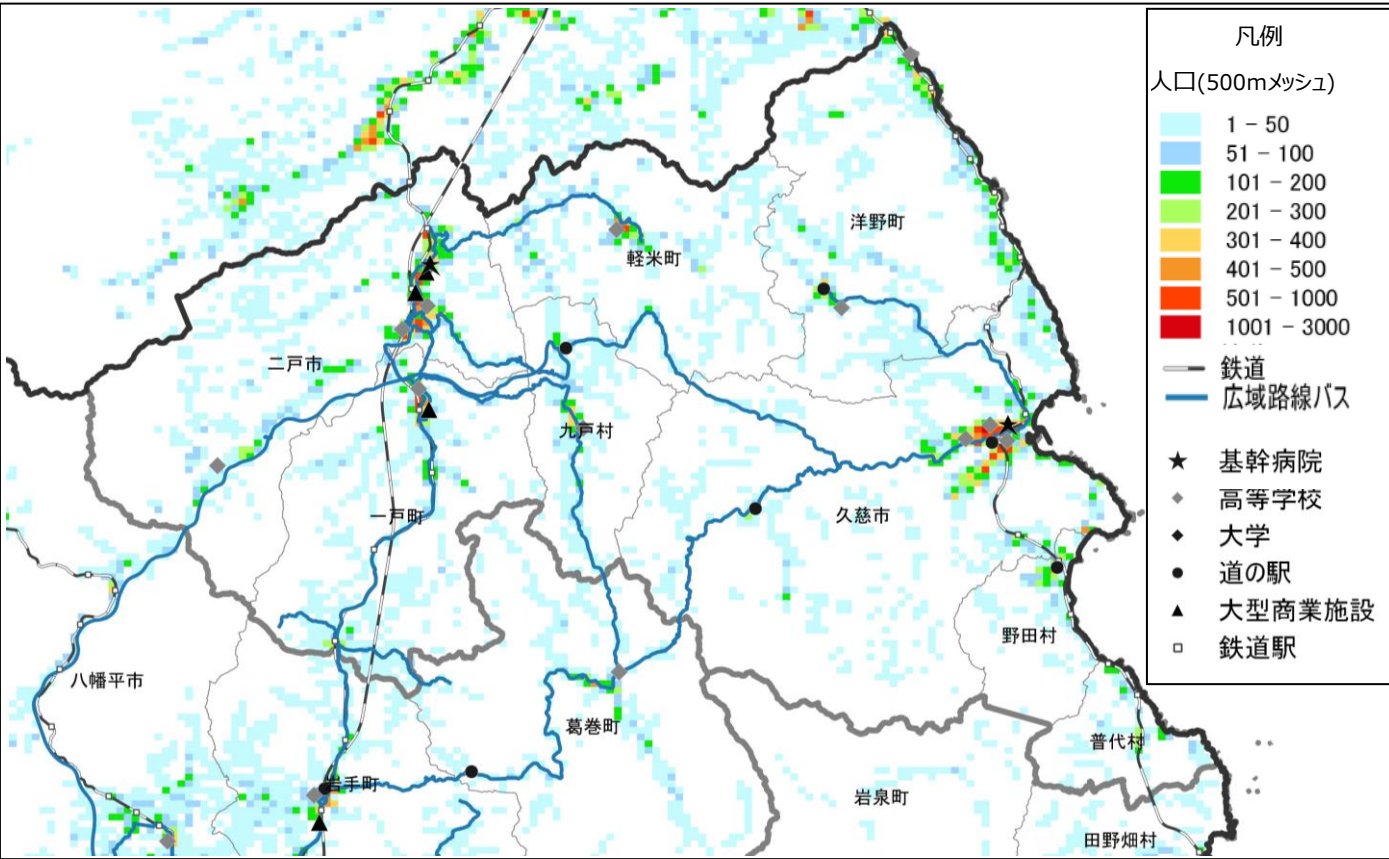
2-1 人口

- ・ 県北地域の人口は、鉄道が通過する久慈市、二戸市に集積しており、県北地域の基幹病院（県立久慈病院、県立二戸病院）は、両市に各々立地している。また、高等学校も、これら2市に多く立地しており、周辺市町村からの通院・通学などの移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。
- ・ 将来人口推計によると、H22（2010）年から2040年の人口減少率は、久慈市、二戸市を除き40%以上と、今後30年間で概ね半減すると予測されている。



図：人口減少率（(2040-H22)/H22）  
資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

図：通勤・通学流動（H27）  
資料：国勢調査



図：人口分布（H27）  
資料：地域メッシュ統計

2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態

- ・ 平成29年度の県北地域の国庫補助対象路線は4路線、県単独補助対象路線は5路線である。
- ・ このうち、県単独補助路線の2路線（葛巻線、二戸線）は、被災地特例終了に伴い、補助の要件を満たさなくなる。
- ・ また、国庫補助対象路線4路線は、平均乗車密度が5人以下であるため、補助金が減額されている。

表：被災地特例終了後の補助要件充足状況（H29年度）

地域	路線種別	国庫補助路線		県単独補助路線		合計	
	補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
県北地域	路線数	4 (9%)	0 (0%)	3 (18%)	2 (22%)	7 (11%)	2 (8%)
	補助額(千円)	84,330 (18%)	0 (0%)	7,795 (15%)	8,997 (26%)	92,125 (17%)	8,997 (6%)
岩手県	路線数	47	16	17	9	64	25
	補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

（ ）内は、岩手県に占める割合

資料：岩手県資料

表：国・県補助対象路線の現状（H29年度）

■国庫補助路線の状況

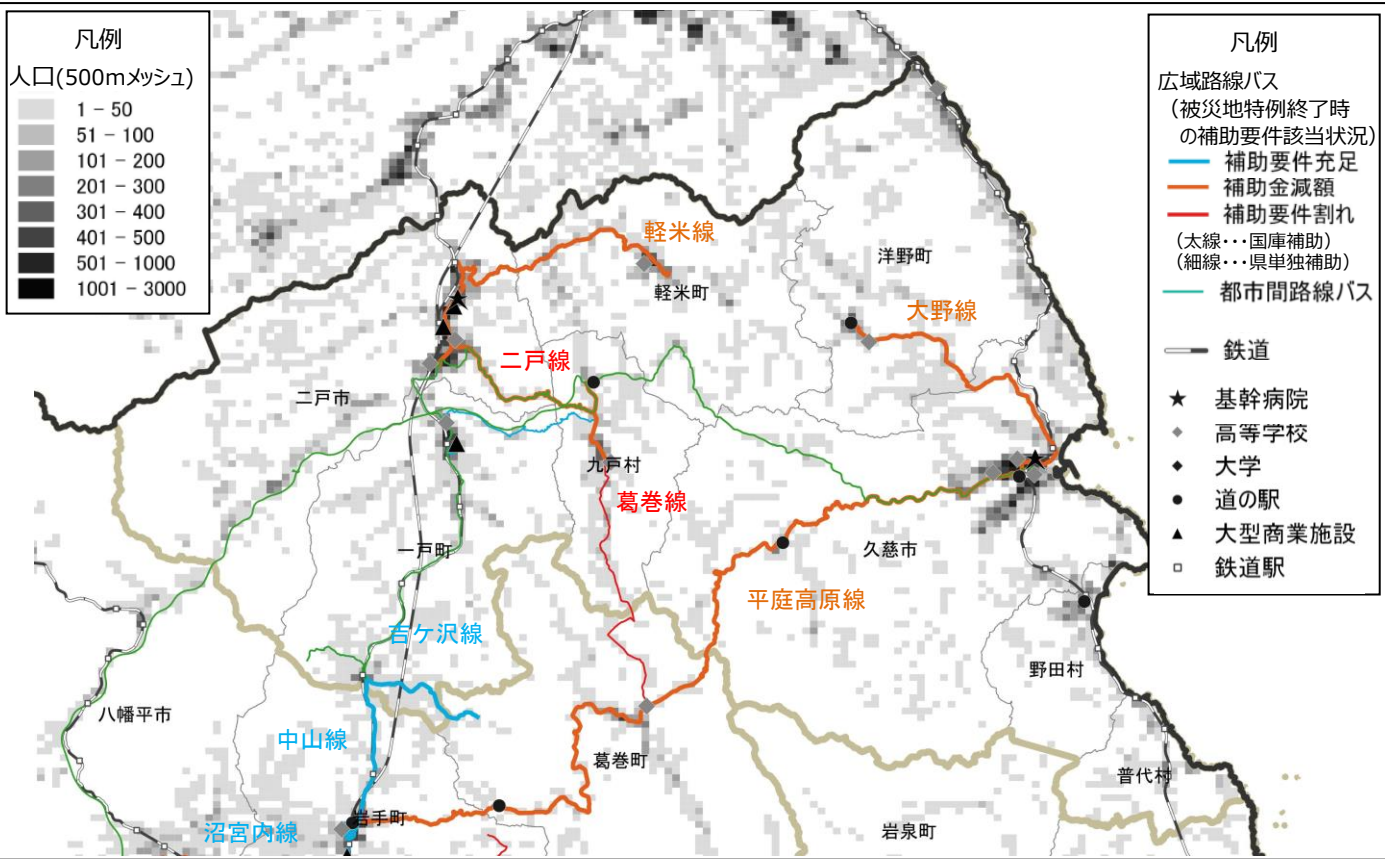
路線名	平均乗車密度(人)	輸送量(人)	経常費用(千円)	経常収益(千円)	欠損額(千円)	補助金額(千円)	被災地特例終了時の補助要件の充足状況	事業者
二戸	3.2	25.9	29,141	14,997	14,145	8,540	満たす（補助金減額）	岩手県北自動車
軽米	4.2	19.3	39,904	18,786	21,119	12,615	満たす（補助金減額）	ジェイアールバス東北
大野	4.6	15.1	16,954	12,404	4,550	3,869	満たす（補助金減額）	岩手県北自動車
平庭高原	4.7	23.5	147,934	57,057	90,877	59,306	満たす（補助金減額）	ジェイアールバス東北

■県単独補助路線の状況

路線名	平均乗車密度(人)	輸送量(人)	経常費用(千円)	経常収益(千円)	欠損額(千円)	補助金額(千円)	被災地特例終了時の補助要件の充足状況	事業者
葛巻	1.2	3.6	10,749	1,788	8,961	4,498	満たさない	岩手県北自動車
二戸※	3.8	5.3	9,904	5,151	4,753	4,499	満たさない	ジェイアールバス東北
吉ヶ沢	4.0	12.0	11,260	6,334	4,925	4,500	満たす	岩手県北自動車
中山	4.0	10.0	5,727	3,977	1,750	1,749	満たす	岩手県北自動車
伊保内一戸	4.2	4.2	3,994	2,447	1,548	1,546	満たす	岩手県北自動車

青字：補助要件充足 橙字：補助金減額 赤字：補助要件割れ  
※ 平成30年度補助対象外

資料：岩手県資料



図：国・県補助対象路線



2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性

- 「岩手県次期総合計画（中間案）」において、県北広域振興圏は、八戸圏域との交流・連携による地域活性化、三陸ジオパークなどの地域資源を生かした交流人口の拡大を地域振興の基本的考え方としている。
- なお、久慈圏域の拠点は久慈市、二戸圏域の拠点は二戸市が位置づけられている。

表：岩手県次期総合計画（中間案）における基本目標と地域振興の基本的な考え方

基本目標	東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き 復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて
■県北広域振興圏の基本的考え方（抜粋）	
・ 隣接する八戸圏域と、様々な面で交流・連携を図りながら、地域の活性化を進める。	
・ 三陸ジオパークなどの豊かな自然環境、御所野遺跡や漆などの歴史・文化など、特色ある地域資源を生かした定住・交流人口の拡大を図る。	

資料：岩手県次期総合計画（中間案）－長期ビジョン－（H30.9）

県北広域振興圏

■久慈圏域			■二戸圏域		
将来都市構造			将来都市構造		
内容		対象	内容		対象
都市の拠点など	中心都市の拠点	久慈	都市の拠点など	中心都市の拠点	二戸
	中心都市の副拠点	野田		中心都市の副拠点	一戸
	地域拠点	種市、大野、山形、普代		地域拠点	軽米、浄法寺、九戸
都市間交流基盤	道路	八戸久慈自動車道 三陸北縦貫道路 幹線道路（国道、一部の主要地方道）	都市間交流基盤	道路	東北縦貫自動車道八戸線 幹線道路（国道、一部の主要地方道）
	鉄道	JR八戸線 三陸鉄道北リアス線		鉄道	東北新幹線 IGR いわて銀河鉄道線
	港湾	久慈港		港湾	－
	環境保全・レクリエーションゾーン	陸中海岸国立公園 久慈・平庭県立自然公園		環境保全・レクリエーションゾーン	折爪・馬仙峡地区県立自然公園

※ 岩手県都市計画マスタープランを参考に整理

2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ

- 県北地域で地域公共交通網形成計画を策定している市町村はなく、久慈市が今年度中に、二戸市が来年度策定予定である。
- また、三陸鉄道沿線地域（県北地域では久慈市、洋野町、野田村、普代村が該当）では、鉄道と広域バス、フェリーを対象とした公共交通網形成計画を策定予定である。
- 隣接する青森県では、平成 28 年 3 月「青森県地域公共交通網形成計画」が策定されており、八戸中心街と洋野町大野を結ぶ広域バス路線及び鉄道が基幹ネットワークに位置づけられている。

2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋））

- 県が実施した自治体ヒアリングによると、通院・通学に利用されている広域バス路線が複数みられる。このうち、被災地特例終了に伴い、補助対象外となることが予想される葛巻線も通院・通学に利用されており、通院・通学の移動手段確保のため、維持が不可欠な路線といえる。
- また地域間交通相互、地域間交通と地域内交通との接続拠点は、鉄道駅、病院、商業施設、道の駅など、日常生活において住民の利用が多い施設や、まちの拠点となる施設が位置付けられている。

表：幹線路線の利用状況、整備状況など

市町村	計画策定状況	鉄道	広域バス路線	接続拠点
普代村	未策定	■三陸鉄道	－	■普代駅 ■堀内駅
野田村	未策定	■三陸鉄道	－	■陸中野田駅
久慈市	策定中（H30予定）	■三陸鉄道 ■JR八戸線	■平庭高原線（国） ■大野線（国） ・洋野町大野地区から久慈市内高校への通学便。	■久慈駅 ■県立久慈病院 ■長内ショッピングセンター
洋野町	未策定	■JR八戸線	■大野線（国） ■軽米大野線 ・大野地区から高速バスへ接続するための路線。 ■八戸大野線 ・八戸日赤病院等への通院便。 ・利用者が少なく減便したが、依然として厳しい状況。	■種市駅 ■大野ふるさと物産館
二戸市	策定中（H31予定）	■東北新幹線 ■IGR	■二戸線（国） ・二戸駅～二戸病院間が市民バスと重複。市バス見直し時の検討事項。 ■軽米線（国）	■二戸駅東口
九戸村	未策定	－	■二戸線（国） ■伊保内一戸線（県） ■葛巻線（県） ・広域路線バスは、通院・通学がメイン	■伊保内支所 ■道の駅おりつめオドデ館
軽米町	未策定	－	■軽米線（国） ■軽米大野線 ・県北バスとの委託契約により運行。 ■軽米伊保内線 ・九戸村伊保内から軽米高校への通学便。 ・県北バスとの委託契約により運行。 ■市ノ沢軽米線 ■八戸大野線	■県立軽米病院 ■複合交流施設（バスターミナル併設予定）H34完成
一戸町	未策定	■IGR	■伊保内一戸線（県） ・朝の通学時間帯運行。 ■吉ヶ沢線（県） ■中山線（県）	■一戸駅

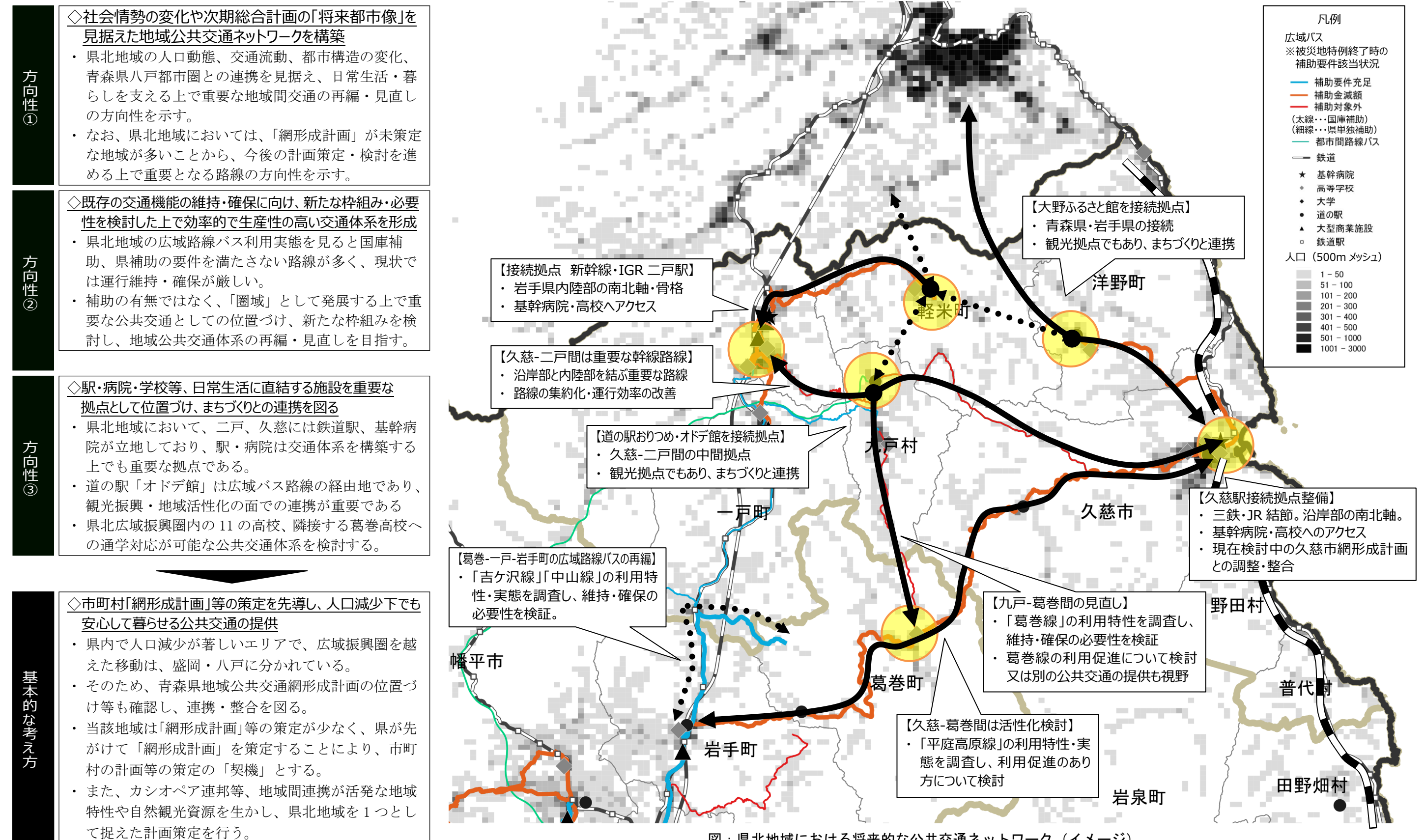
青字：補助要件充足

橙字：補助金減額

赤字：補助要件割れ

### 3. 県北地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）

- ・ 既存資料・データから見る本県の地域公共交通を取り巻く現状と課題を踏まえて、県北地域における将来的な公共交通ネットワークの方向性は以下に示すとおりである。
- ・ 今後、各市町村の上位関連計画における「地域公共交通（特に地域間交通）」の位置づけ・役割、交通事業者が所有している「路線バス運送実績データ分析」、本業務で実施予定となっている各調査結果を基に、下記方向性をブラッシュアップしていく予定である。



図：県北地域における将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）